

伊勢の津七福神 七夕祈願祭2014

★2014年（H26）7月7日（月）

夜7時から（雨天時はお堂内で祈願）

★場所：津観音寺 津市大門 32-19

TEL059-225-4013

★内容：安寧^{あんねい}と健康を祈願

笹飾りお焚き上げ
願い事を書いて最寄り
の7寺社に届けてく
ださい。



巡拝ちょっといい話

静岡から津にみえたホンダさん。たまたま宿泊先のホテルで七福神のパンフレットを手にして、早速巡拝。旅の無事を！ 人と人との出会いに感謝です。

沙羅双樹

津市河芸町上野の円光寺で、平家物語の冒頭に登場する沙羅双樹の花が見ごろです。（059-245-4231）

☆平成26年6月中旬から2週間



★四天王寺には齋藤拙堂^{さいとうせつどう}がいる

齋藤正和（菰野町）

伊勢の津七福神のなかで大黒天を祀るのは塔世山四天王寺。この古刹の境内、本堂の左手の丘の天辺に南を向き、津城を注視して立っている墓がある。この墓の主こそ江戸時代末期、全国にその文名を馳せた津藩校有造館（ゆうぞうかん）第三代督学齋藤拙堂である。

彼は、かの吉田松陰もその教えを求めて訪ねて来た天下の大学者であった。文豪拙堂の代表作『月瀬記勝』（つきがせきしょう）は幕末から明治にかけてのロングセラーであり、そのため月ヶ瀬の梅の季節には東京の文士たちが月ヶ瀬観梅に出かけ東京が空っぽになったといわれた。

拙堂は江戸湯島の昌平齋（しょうへいこう）で古賀精里（せいり）に学び23歳の時、設立当初の津藩校の教官に採用され、27歳で講官（教授）に昇進している。29歳の時には幼君藤堂高猷（たかゆき）の侍読（じどく）即ち教育主任に任ぜられ、藩主成人後はいわば特別補佐官であった。

中国がアヘン戦争で敗北した時期にあたり、日本が西洋に負けないよう洋学の受け入れに熱心であった。北海道に屯田兵を置いてロシアに備えよと説き、英米船の打ち払いは無謀だから開国して海防力を付けよとも説いている。

その上、武士にとって何よりも重要なのは国防のための気力と節操であること、そして社会の指導者として庶民をいたわるべきことを教えている。

拙堂の別荘・茶磨山荘（さまさんそう）は、四天王寺にほど近い今の鳥居町にあったので、ときの住職仏関和尚と親交を結びしばしば相互に訪問し漢詩の応酬をしている。お寺に遺っていた平安時代中期の古文書「民部省図帳」（みぶしょうずちょう）に跋文（ぼつぶん）を書き、この文化財は今も四天王寺に遺っている。

大黒天は富の、拙堂は学問の神様仏様。名刹四天王寺にはこの二つが揃っている。

★ドラマ「半沢直樹」に思う

加藤恒二（津市）

少し前、銀行を舞台とする池井戸潤氏の小説が人気を呼び、「半沢直樹」という名の銀行員が活躍し



ました。かく言う私は、昭和45年から33年間、銀行員でした。

小説の名場面である「金融庁検査」は過去を思い起こさせます。

検査では、検査官が銀行の経営・事務・資産などを調査、評価し、改善を要求します。検査の一環として行われるのが、貸出先および貸出金の査定(評価)です。多額の貸出金のある先・経営の芳しくない先(以下「不芳先」ふほうさき)などの貸出先が査定の対象となります。

事前に提出された資料を参考に、検査官は面談に臨むこととなります。

一方、銀行側も提出した資料以外に膨大な補足資料を準備し、支店長と担当者が待ち受けることとなります。

面談で最も議論になるのは、不芳先がいかに査定(評価)されるかということです。検査官は金融庁の査定基準により、銀行側はより良い評価を受けようと丁々発止のやり取りが繰り返されます。

補足資料のパンフレット・商品を並べる営業マン型の支店長もいれば、自ら作成した対象先の事業計画を提示する総務部長型の支店長もいます。何とか対象先がより良い評価をと努めます。小説では、良い評価を求めるのは、貸倒引当金(かしだおれひきあてきん)積増の関係で、銀行の決算に悪い影響を与えるからということになっています。しかし、現場の銀行員にとって、最も重要なのは、不芳先との今後の取引です。不芳先への貸出には、慎重かつ消極的にならざるを得ません。有望な製品を開発している企業、高い技術を持つ企業、優秀な人材を抱える企業の発展を阻害し、悪くすると倒産に追い込んでしまうこととなります。そんな事態を避けるため、支店長たちは検査官との面談に臨んでいます。

ともすれば、自己中心的になりがちな銀行員ではありますが、こんな所でも、地域の企業のお役に立っていることをご理解いただきたいと思います。



★俳句 大川清子(津市)

散り急ぐ勿れ 深山に 残る花
昏れゆきて 卯の花月夜と なりにけり
水色の 空の暮ゆき 四月尽
遠近の 暮ゆく嶺々に 春惜しむ
葉桜や 駅の名も 桜なり
訪ふ宿は 常磐木落葉 舞ふ中に
辿りゆく 暮春の峽に 時の鐘

(4月末 湯の山にて きよ女)



《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内
電話：059-225-8558

URL : <http://isenotsu7fukujin>.

編集後記：七夕祈願祭に是非お越しく下さい。

巡拝の方が1300名を越えました。

池上 kanon@nifty.com

■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)

- ・うなぎのつたや 100円引き 059-228-3005
- ・榊原館 日帰り入浴 お茶進呈 059-252-0206
- ・谷石材 花筒5%引き 0595-21-2148
- ・大寿司 アイスクリームなどデザートサービス 059-234-5129
- ・はま作 和菓子サービス 059-228-3088
- ・松菱 7階彦兵衛ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス 059-228-6082
- ・都ホテル内 日本料理「浜千鳥」食事の際、10%割引 H26.12.31まで 059-229-2255
- ・ホテル三徳 宿泊客にコーヒー一杯サービス 059-223-3109
- ・伊勢門本店 ランチ以上に自家製プリンサービス 059-221-5777



切り取って会員証へ